

私が経営を継いだ時に「うちの会社はどんな会社だと思っただろうか？」と社員からアンケートをとりました。「うちの会社は、お客様の奴隷だ。お客様の言う通りにモノを作ればいいのだ」という答えがあつて、愕然としました。数人の熟練工さんです。そこで、社員が自分の仕事に誇りをもち、まわりの人に堂々と「私は板金屋だ」と言える、景気に左右されない会社をめざそうと、2015年1月から自社ブランドを作る新事業を始めました。

弊社は、板金加工の技術を活かしたもので、試作が得意。その職人の技術を女性チームの力で表に出そうと「三代目板金屋」としてインテリアやステンレスのかんざしなどの商品開発を行っています。

水鳥 12年前、静岡市の「ランデブープロジェクト」に参加して、デザイナーのひびここづえさんと組んで商品を開発しました。それがきっかけとなり、デザイナーさんと組んで商品開発をするという流れができました。

ブランド化への取り組みは8年前。会社のイメージを作り上げる重要な部分を内製化して、まずはホームページを作り変え



株式会社水鳥工業
専務取締役

水鳥友紀子さん

ひとりひとりが誇りをもってものづくりができるように職場を改善

ました。それができる社員がいてくれたことも幸運でした。伝えたい思いを直接表現できるようになったことで、お問い合わせ頂ける機会が格段に増えました。

社長や前常務が、いろいろな方の意見を取り入れて、新しいことに柔軟にチャレンジしたことが、会社が大きく変わった要因だと思えます。

しかし、外向きの情報発信と、社内で作っている人との間には温度差がありました。「下駄を生活に取り入れて新しいライフスタイルを作ってください」と言っているのを売っているのに、作っている人たちは楽しんでいない、ということが、私が5年前に帰ってきて現場に入った時に感じた課題でした。

現場に行くと「なぜこうしているのですか?」「こうするとどうなるのですか?」と手当たり次第に質問して、現場が不便に感じていることを聞き出して、少しずつ改善してきました。会社に一体感を作り、現場の人たちが自分の会社に誇りを持つようにトライしています。

北川 10年前に引き継いだ当初は、本当に多くの問題がありました。木粉だらけの典型的な木材工場で、様々な工具が整理整頓されておらず、作業環境が良くないと思えました。仕事量も社員によって偏りがあり、不公平感が漂っていました。問題を看過できず、引き継いですが、工場に木粉まみれになりながら入りましたが、最初は、あまり結果が出ませんでした。

しかし、私ならではの「主婦目線」で気付けたことが、その後の改革につながったと思います。

そんな折、静岡商工会議所の製造現場改善支援事業で派遣して頂いたアドバイザーの先生のおかげで「カイゼン」の奥深さに気付きました。カイゼンは全社的に進める必要があると感じ、変化を恐れない若手主体のメンバーでカイゼンチームを作り、ラインの変更や機械の改善を推進しました。カイゼンを継続することにより、品質や納期が格段に向上し、効率的な生産ラインを構築できるようになりました。そのおかげで、取引企業との信頼関係も強固となり、今でも安定した受注を頂いております。

現在では、カイゼン活動によって蓄積したノウハウを活かし、カイゼン治具の製作・販売を開始しています。弊社の改善の成果を聞いた会社から、木と鉄を組み合わせた作業台等の注文があったことがきっかけです。小さな町工場では、カイゼン治具を作る時間と人材が不足しています。私もその困難さを大いに痛感しました。カイゼン治具製作によって、そのような企業の「カイゼン」を少しでも手助けできればと思っています。

小池 自然葬や合同葬でも、プレート一個でも石を使ってもらえるお祀りの仕方を提案しています。次にお墓参りに来た時に「今度はこういうものがほしい」と言われることがあります。

(有)小池石材店

創業/1926年

所在地/静岡市葵区古庄3-1-3

電話/054-2633-8340

墓石・記念碑の設計・施工。

和型から洋形、オリジナルまで柔軟に対応いたします。展示場も完備しておりますので、ゆつくりとご覧いただけます。

大切なお墓の耐震リフォーム。

大切なお墓の耐震性に不安はございませんか? 小池石材店では様々な工法を用い、そんな不安にお応えします。

建築用石材の販売・加工・施工。

小池石材店では建材用の石材のご用命も承っております。企画から設計・施工までご相談ください。



小池石材店展示場



<http://koikesekizai.com/>